

○取組の概要

- 糖尿病や高血圧に予防効果のあるとされる「丹波黒大豆」や、地域特産物である「丹波大納言」等の加工品を開発。



【取り組むに至った経緯】

- 平成12年度に農事組合法人グリーン日吉を設立(組合員930名)
- 農業経営及び担い手や後継者不足に対応するため、平成12年から年間を通じた黒豆の消費と価格維持を目指し加工を開始、付加価値向上と有利販売を目指す

【生じた課題への対応方法】

- 全国の百貨店でテスト販売を含め、積極的に展開
- 消費者の集まる農業祭イベントに積極的に参加(年間50回以上)

【取組の効果】

- 平成21年度販売額
1億3,000万円(加工品全体)
- 雇用の創出(H22.12.1現在)
正社員 2名 アルバイト 14名
- 30種類以上の商品開発・販売

【取り組む際に生じた課題】

- 販路の開拓・拡大

【活用した支援施策(補助事業等)】

- 地域資源活用売れる商品づくり支援事業(H22 経済産業省)

【今後の展望】

- 消費者との交流により、需要を的確に捉えた加工品を積極的に開発(年間2品目程度)していく

成功のポイント！！

○ 地域の活性化への貢献

地域の特徴を商品に込める。ほんまもんの製造。
消費者の集まる農業祭イベントに積極的に参加(年間50回以上)

○ 丹波黒大豆のさらなる高付加価値化

ブランデーを加えやわらかく仕上げた「京・丹波黒豆グラッセ」が大ヒット、マスコミにも大きく取り上げられる。

○ 京都ノートルダム女子大学との連携

大学の知力を活用し、商品を共同開発。